

国 語

国語科では、単元計画を構想する際、育成を目指す資質・能力を明確にするとともに、児童が言葉による見方・考え方を働かせながら資質・能力を育むために適した言語活動を設定することが大切です。

国語科の授業づくりのポイント

- 目指す資質・能力を踏まえた単元の目標
- 目指す資質・能力を育成するために適した言語活動

目指す資質・能力を踏まえた単元の目標

国語科では、「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力等」を相互に関連させながら育成することが大切です。また、資質・能力の育成において大きな原動力となるのが「学びに向かう力、人間性等」です。三つの資質・能力をバランスよく育成できるよう、単元の目標を設定します。

1 単元名
健康に過ごすために、複数の本や資料を読み、自分ができそうなことをまとめよう。
第6学年 C読むこと

2 単元の目標

(1) 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。 **【知識及び技能】(2)ア**

(2) 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすることができる。 **【思考力、判断力、表現力等】C(1)ウ**

(3) 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。 **【思考力、判断力、表現力等】C(1)オ**

(4) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。 **「学びに向かう力、人間性等」**

運動で健康な体をつくろう！

運動には、筋力や持久力を高めるほかに、病気へのていこう力を高める効果もあります。

★ **どんな運動をするといいのか？**
運動をするとき、自分に合った運動を選んで行うことが大切です。主な運動の種類には、下のよう**に、軽いジョギングなどの持久力を高める運動や、腹筋運動などの筋力を高める運動があります。そのほかにも、体のやわらかさを高める運動や、たくみな動きを高める運動などがあります。**

このように運動は日常生活の中にもあります。例えば、休み時間の外遊び、犬の散歩、階段の上り下り、雪かきなどです。日常生活の中で体を動かす機会をつくると効果的です。

主に持久力を高める運動の例
ジョギング、なわとび

主に筋力を高める運動の例
腹筋運動、うで立て

単元の目標を達成した児童が作成したリーフレットのイメージ

POINT

- 当該単元で育成を目指す資質・能力を学習指導要領解説や年間指導計画等で確認しましたか。
- [知識及び技能]の指導事項と[思考力、判断力、表現力等]の指導事項との関連を考えましたか。
- 指導の系統性を踏まえ、児童の既習事項の学習状況を確認しましたか。

目指す資質・能力を育成するために適した言語活動

言語能力を育成する中心的な役割を担う国語科では、言語活動を通して資質・能力を育成することが大切です。言語活動を設定する際は学習指導要領の当該学年に示された言語活動例を参考にするとともに、「単元の目標を実現するために適した言語活動であるか」という視点で検討し、設定します。

【最初に設定した言語活動】健康について複数の本や資料を読む。

↓

学習指導要領を参考に目標の達成に向け、児童が自分事として言語活動を捉えることができるようにすると…

【改善した言語活動の例】健康について、複数の本や資料を読んで、考えたことをまとめる。

運動で健康な体をつくろう！

どんな運動をするといいの？
運動をする際、自分に合った運動を選んで行うことが大切です。主な**運動の種類には、下のよう**に軽いジョギングなどの持久力を高める運動や、腹筋運動などの筋力を高める運動があります。そのほかにも、体のやわらかさを高める運動や、たくみな動きを高める運動などがあります。****

実際の授業で児童が書き込んだ資料

POINT

- 言語活動を教師が実際に行うなど、目標を達成した児童の姿を想定していますか。
- 児童が主体的に思考・判断・表現し、言語活動に取り組む場面がありますか。
- 言葉に着目して試行錯誤しながら、児童自ら学習を進める場面がありますか。

【参考資料】

- ① 小学校学習指導要領（平成29年告示）解説国語編（文部科学省）
- ② 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【小学校 国語】（国立教育政策研究所）
- ③ 令和5年度小学校教育課程改善の手引 P14、P15（北海道教育庁学校教育局義務教育課）
- ④ 令和5年度全国学力・学習状況調査 北海道版結果報告書 P5、P6（北海道教育委員会）

